

今回の紹介地区 No.110

大分県 杵築市 カヤノ原地区

耕作放棄地再生利用緊急対策及び企業のCSR活動を活用した事例

取組概要

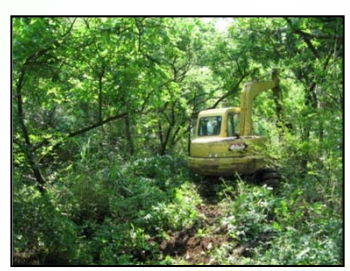
対象面積：農地面積 15ha
 実施期間：平成21年6月8日～7月31日
 取組のきっかけ：県が平成18年に(株)伊藤園と契約産地づくり協定を結び、茶園を100ha増やす目標を掲げ、県内の耕作放棄地を中心に茶園造成を検討。元気な地域づくり交付金事業等を利用して、荒廃していた桑畑を茶園として再生した後、本事業を活用し土壤改良・営農定着を実施した。
 調整経緯：行政主導で地元建設業者の農業参入や地権者との調整を行った。
 取組主体：農事組合法人(母体：地元の建設業者)(作物：茶)
 作業内容：土壤改良(チップ敷き)、営農定着(苗木定植)

企業のCSR活動の概要

(株)伊藤園では、緑茶原料の安定調達と生産の効率化、生産農家の育成のために大規模茶園事業として茶産地育成事業に取り組んでいる。この事業により、耕作放棄地の有効活用や雇用の創出、若い世代の就農による後継者不足の解消など、地域社会や農業の活性化に貢献している。

進展状況

平成18年から各種事業を利用しながら耕作放棄地の解消に取り組んでおり、平成22年5月に第一期植栽分2haの初出荷を終えた。今後も茶産地の育成のため、第2団地13haの茶産地造成を行う予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後